

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月13日 (2008.3.13)

【公表番号】特表2005-504738(P2005-504738A)

【公表日】平成17年2月17日 (2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-512224(P2003-512224)

【国際特許分類】

C 0 7 C 217/90 (2006.01)

A 6 1 K 31/085 (2006.01)

A 6 1 K 31/136 (2006.01)

A 6 1 K 31/353 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/4433 (2006.01)

A 6 1 K 31/4436 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 213/64 (2006.01)

C 0 7 D 311/30 (2006.01)

C 0 7 D 311/60 (2006.01)

C 0 7 D 405/04 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

C 0 7 D 405/14 (2006.01)

C 0 7 D 411/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 217/90

A 6 1 K 31/085

A 6 1 K 31/136

A 6 1 K 31/353

A 6 1 K 31/44

A 6 1 K 31/4433

A 6 1 K 31/4436

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 213/64

C 0 7 D 311/30

C 0 7 D 311/60

C 0 7 D 405/04

C 0 7 D 405/12

C 0 7 D 405/14

C 0 7 D 411/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年1月22日(2008.1.22)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

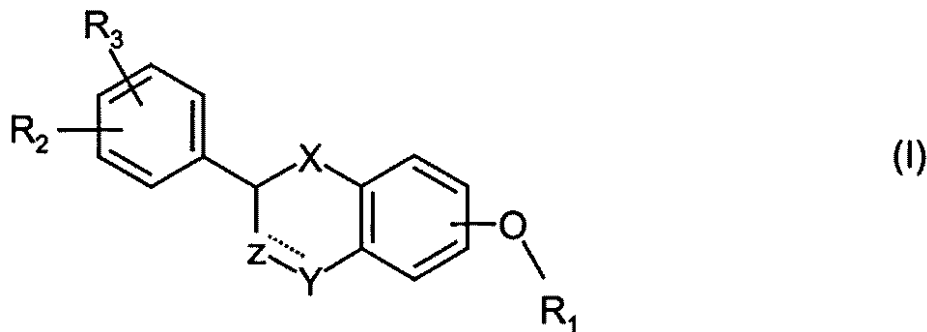
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の式(I)の化合物ならびにその薬学的に許容可能な塩。

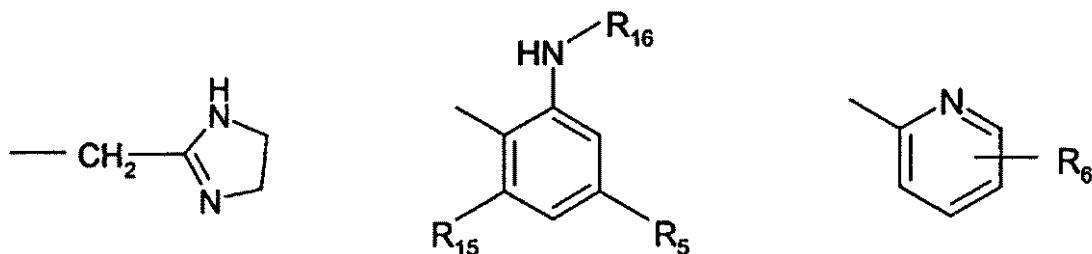
【化1】



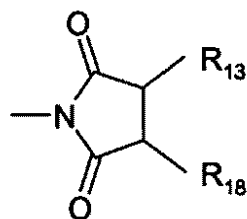
(式中、

Xは、 $-O-$ 、 $-CH_2-$ または $-C(O)-$ であり、Zは、 $-CHR_9-$ または原子価結合であり、Yは、 $-CH_2-$ 、 $-C(O)-$ 、 $CH(OR_{10})-$ 、 $-CH(NR_{11}R_{12})-$ 、 $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-S(O)-$ または $-S(O_2)-$ であり(ただし、Zが原子価結合である場合、Yは $C(O)$ ではない)、破線は、ZおよびY間の結合が単結合または二重結合のいずれかであることを表し、破線が二重結合を表す場合、Zは $-CR_9-$ であり、Yは $-CH-$ 、 $-C(OR_{10})-$ または $-C(NR_{11}R_{12})-$ であり、 $R_1$ は、以下の基の1つであり、

【化2】

 $R_2$ および $R_3$ は、独立して、H、炭素原子1~7個のアルキル、炭素原子1~7個のアルコキシ、 $-NO_2$ 、ハロゲン、 $-CF_3$ 、 $-OH$ 、 $-NHR_8$ 、または $-COOH$ であり、 $R_5$ は、H、炭素原子1~7個のアルコキシ、 $-CF_3$ 、 $-NH_2$ または $-CN$ であり、 $R_6$ は、 $-NO_2$ 、 $-NR_{14}R_{19}$ 、 $-CF_3$ または

## 【化 3】



であり、

$R_8$  および  $R_{16}$  は、独立して、H または アシル であり、

$R_9$  は、H または 炭素原子 1 ～ 7 個のアルキル であり、

$R_{10}$  は、H、アルキルスルホニル または アシル であり、

$R_{11}$  および  $R_{12}$  は、独立して、H、炭素原子 1 ～ 7 個のアルキル または アシル であり、

$R_{13}$  および  $R_{18}$  は、独立して、H または  $-OR_{20}$  であり、

$R_{14}$  および  $R_{19}$  は、独立して、H、アシル、アルキルスルホニル、 $C(S)NHR_{17}$  または  $C(O)NHR_{17}$  であり、

$R_{15}$  は、H または  $NH_2$  であり、

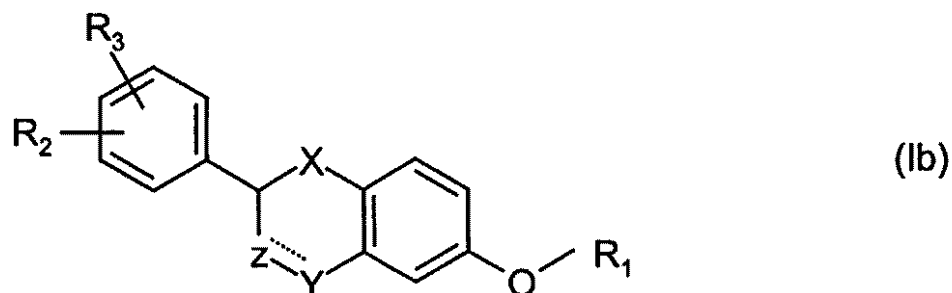
$R_{17}$  は、H または 炭素原子 1 ～ 7 個のアルキル であり、

$R_{20}$  は、H または アシル である )

## 【請求項 2】

請求項 1 記載の化合物であって、該化合物が、以下の構造式を有する化合物。

## 【化 4】



(式中、 $R_2$ 、 $R_3$ 、 $X$ 、 $Y$  および  $R_1$  は、以上で規定されたとおりである)

## 【請求項 3】

前記  $X$  が O であり、そして  $Z$  および  $Y$  が  $-CH_2-$  である請求項 1 または 2 記載の化合物。

## 【請求項 4】

前記  $X$  が O であり、 $Z$  が  $-CH_2-$  であり、そして  $Y$  が  $CHOH$  である請求項 1 または 2 記載の化合物。

## 【請求項 5】

請求項 1、2、3 または 4 記載の化合物であって、前記  $R_1$  が以下の基の 1 つである化合物。

## 【化 5】



## 【請求項 6】

前記  $R_6$  が、 $NO_2$  または  $-NR_{14}R_{19}$  である請求項 1、2、3、4 または 5 記載の化合物。

## 【請求項 7】

前記  $R_{14}$  および  $R_{19}$  が、独立して、H、アシルまたはアルキルスルホニルである請求項 6 記載の化合物。

## 【請求項 8】

前記  $R_{15}$  および  $R_{16}$  が H である請求項 1、2、3、4、5、6 または 7 記載の化合物。

## 【請求項 9】

前記  $R_5$  が、H または 炭素原子 1 ~ 7 個のアルコキシ である請求項 1、2、3、4、5、6、7 または 8 記載の化合物。

## 【請求項 10】

前記  $R_2$  および  $R_3$  が、独立して、H またはハロゲンである請求項 1、2、3、4、5、6、7、8 または 9 記載の化合物。

## 【請求項 11】

前記ハロゲンが、フッ素である請求項 10 記載の化合物。

## 【請求項 12】

薬学的に許容可能な担体と一緒に請求項 1 記載の化合物を含有する薬学的組成物。

## 【請求項 13】

治療的有效量の請求項 1 記載の化合物を含む 不整脈の治療剤。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

(式中、

X は、 $-O-$ 、 $-CH_2-$  または  $-C(O)-$  であり、

Z は、 $-CHR_9-$  または原子価結合であり、

Y は、 $-CH_2-$ 、 $-C(O)-$ 、 $CH(OR_{10})-$ 、 $-CH(NR_{11}R_{12})-$ 、 $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-S(O)-$  または  $-S(O_2)-$  であり (ただし、Z が原子価結合である場合、Y は  $C(O)$  ではない)、

破線は、Z および Y 間の結合が単結合または二重結合のいずれかであることを表し、破線が二重結合を表す場合、Z は  $-CR_9-$  であり、Y は  $-CH-$ 、 $-C(OR_{10})-$  または  $-C(NR_{11}R_{12})-$  であり、

$R_1$  は、 $-(CH_2)_nNR_4R_7$  または以下の基の 1 つであり、